

はじめに

鷹俳句会の創刊・主宰は藤田湘子先生でした。

私達は、湘子先生の薫陶を受け、

作句を続けてきました。

美しい日本語を愛された先生を忘れず、

先生の俳句を未来へ伝えてゆくことが、

残された私達の使命であると感じています。

昭和、平成、そして令和へと、

改めて年月の速さを思わずにはいられません。

そこで、轍郁摩と野本京の二人で、

毎週一句を選び、鑑賞を試みようと考えました。

二人で鑑賞すると、それぞれ違った観点があり、

それなりの楽しさもあります。

まずは「百句鑑賞」に挑戦してみようと思います。

お読みいただければ幸いです。

令和二年（2020.01.01）